

〈冬木小袖〉修理プロジェクト —1,500万円の目標達成！みんなの寄附で文化財を修理—

独立行政法人国立文化財機構（本部：東京都台東区）、東京国立博物館と文化財活用センターは、江戸時代の絵師・尾形光琳が描いた「重要文化財 小袖 白綾地秋草模様（通称〈冬木小袖〉）」の修理を個人・企業からの寄附で行う「〈冬木小袖〉修理プロジェクト」を、2020年1月から行ってきましたが、寄附額が1,500万円を超え、当初の目標を達成しました。

同プロジェクトでは、大切な文化財をみんなで未来へつなぐことを目指し、ウェブサイトからの返礼品付き寄附、館内の募金箱、企業協賛など様々な方法を通じた支援を呼びかけてきましたが、多くの方からの賛同を得て、プロジェクト開始時に立てた「2022年6月までに1,500万円」という目標を大幅に繰り上げる形での達成となりました。

〈冬木小袖〉は、今年1月に修理工房へと運ばれており、2022年末までの2年をかけて修理が進められます。文化財活用センターでは、今後の修理状況についても、同センターのウェブサイト（<https://cpcp.nich.go.jp/fuyuki/>）やYoutube（<https://www.youtube.com/c/cpcpnich>）等で、2023年に予定している修理後の一般公開まで定期的に報告を行っていきます。

また、目標到達後も同プロジェクトへの寄附受け入れは2021年末まで継続し、今後の寄附は東京国立博物館所蔵の文化財の修理費に充てられます。

皆様からの温かいご支援に感謝し、大切な文化財を未来へつなぐために、プロジェクトを続けていきます。



重要文化財 小袖 白綾地秋草模様
（通称〈冬木小袖〉）
尾形光琳筆 江戸時代・18世紀前半



〈冬木小袖〉モチーフの返礼品



特別展期間中の館内募金コーナー



購入が寄附になる〈冬木小袖〉ミクグッズ

本件についての取材・お問い合わせ

国立文化財機構 文化財活用センター ファンドレイジング担当 田村、古山

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9 東京国立博物館東洋館 5階

E-mail: cpcp@nich.go.jp TEL: 03-5834-2856(直通) FAX: 03-5834-2857



文化財活用センター公式サイト
<https://cpcp.nich.go.jp/>



@cpcp_nich 文化財活用センター
https://twitter.com/cpcp_nich



@cpcp_nich 文化財活用センター
https://www.instagram.com/cpcp_n

SNS（Twitter・Instagram）では「#ふゆきものP」をつけて最新情報を随時発信中。

〈冬木小袖〉と修理について

〈冬木小袖〉とは、尾形光琳が約 300 年前に、みずから筆をとって秋草の模様を描いたきものです。京都から江戸に出た光琳が滞在した深川の材木問屋、冬木家の夫人のために描いたといわれ、〈冬木小袖〉と呼ばれています。こうした「描絵小袖」は、まさに一点ものの特注品、当時裕福な女性の間で流行していました。

日本やアジアの文化財は、環境の変化による影響を受けやすく、定期的な修理により良好な状態に保つことが必要です。東京国立博物館ではこれまでも、予算の一部を修理費用に充てることで、継続して文化財の修理を進めてきましたが、その予算は限られており、多くの文化財が修理の順番を待っています。

〈冬木小袖〉も経年による劣化が進み、汚れや糸の断裂が見られます。また、傷んだ表地を補強するために先の修理で施した並縫いの縫い目が目立っている状況です。

今回、個人・企業の皆様からの後押しにより、いよいよ本格修理に着手することができました。2021 年 1 月に修理工房へと運ばれた〈冬木小袖〉は、部分的な解体を行いながら、まず損傷状態の確認と修理方法の検討を進めてきました。今後はさらに、表地の補修や裏地の新調などが予定されており、2022 年末の修理完了を目指して慎重に作業を進めています。



修理前：先の修理による並縫いの縫い目が目立っている



解体作業の様子（撮影：凸版印刷株式会社）

■東京国立博物館とは <https://www.tnm.jp/>

1872 年創立の日本でもっとも長い歴史を誇る博物館。収蔵する文化財は約 12 万件。日本から中国、朝鮮半島、西アジア・エジプトまでの地域を網羅し、土器や土偶などの考古遺物から浮世絵や刀剣、甲冑、近代絵画など、日本の美術史をたどることのできるコレクションとなっている。

■文化財活用センターとは <https://cpcp.nich.go.jp/>

2018 年に国立文化財機構に設置された、文化財活用のためのナショナルセンター。「文化財を 1000 年先、2000 年先の未来に伝えるために、すべての人びとが、考え、参加する社会をつくりまします」というビジョンを掲げ、「ひとりでも多くの人々が文化財に親しむ機会をつくる」をミッションとして、さまざまな活動をしている。

本件についての取材・お問い合わせ

国立文化財機構 文化財活用センター ファンドレイジング担当 田村、古山

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9 東京国立博物館東洋館 5 階

E-mail : cpcp@nich.go.jp TEL : 03-5834-2856(直通) FAX : 03-5834-2857